



5月になりました。

生垣が伸び刈り込みを考えている方

生垣は、手入れをしないで放任しておくと丈が高くなって  
横幅が広まってくるだけでなく、枝の出方が粗くなり、

下枝が上がって寿命が短くなってしまいます。

これを防いで一定の高さと幅を維持し、枝葉を密生させるには、  
刈り込みが必要です。

1回目の刈り込みは、

新芽が展開して新枝の伸び切った5月頃に行うのが一般的です。

この時期の害虫の防除について説明します。

5月は害虫が一斉に活動し始めます。

アメリカシロヒトリ（サクラ・ウメ・モモ・カイドウなど）には、要注意。

枝の分岐点や小枝の先に巣を張ります。（焼殺・トレボン乳剤の散布など）

広葉樹のウドンコ病にはトリフミン水和剤、葉先を縮めてしまうアブラムシ・新芽を  
食べるシャクトリムシにはスミチオン乳剤（MEP）やアディオン乳剤（ペルメトリ  
ン）を散布します。

農薬による防除の場合は、薬剤の説明書を確認し適正に使用しましょう

散布時期の目安は、

5月中旬、7月下旬、8下旬～9月上旬です。

